

人権だより

第45号

みんなで築こう 人権の世紀

～ 考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心 ～

第71回 人権週間 12/4 ~ 12/10

人権を守るといふこと

「人権を守る」ということは、その違いを理解し、尊重するということ。

また、誰もが当たり前に幸福を追求し、素晴らしい人生を送れるようにすること。

そして、もし、そこに差別や偏見があるとしたら、それをなくしていくこと。

国連は、昭和23年に世界人権宣言を採択したのを記念し、昭和25年(1950年)12月4日の第5回総会において、12月10日を「人権デー(Human Rights Day)」と定め、加盟国などに人権思想の啓発のための行事を実施するように呼び掛けています。

法務省の人権擁護機関では、昭和24年から毎年、12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、全国的に啓発運動を展開し、広く国民に人権尊重思想の普及行動を呼びかけています。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君&あゆみちゃん

令和元年度人権啓発活動年間強調事項

- ◆子どもの人権を守ろう
とくに子どもに対する虐待、学校などにおけるいじめ、体罰をなくそう
- ◆男女共同参画社会を目指そう
- ◆高齢者の人権を尊重しよう
- ◆障害のある人の自立と社会参加を進めよう
- ◆同和問題に対する理解を深めよう
- ◆インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- ◆拉致問題の解決を含めた北朝鮮当局の人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ◆大震災に起因する偏見や差別から被災者の人権を守ろう
- ◆外国人の人権問題に対する理解を深めよう
- ◆セクシャルマイノリティーに対する偏見や差別をなくそう

ひとりで
悩まずに
ご相談ください

(法務省人権擁護局・
全国人権擁護委員連合会)

電話相談

相談時間 月曜～金曜日 午前8:30～午後5:15
土日祝日、平日の時間外は留守番電話です。

- ・子どもの人権110番 **0120-007-110**
- ・みんなの人権110番 **0570-003-110**
- ・女性の人権ホットライン **0570-070-810**

手紙相談 子どもの人権SOSミニレター

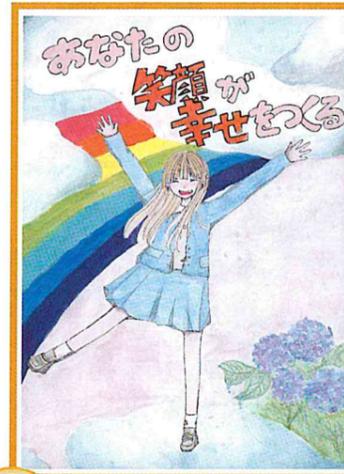
メール相談 <https://www.jinken.go.jp/>
(パソコン・携帯電話・スマートフォン共通)

インターネット人権相談 検索



第46回人権を理解する作品コンクール

ポスターの部



入選 長久手市立長久手小学校 6年
名倉 葵さん



入選 長久手市立市が洞小学校 4年
安田 有梨花さん



佳作 長久手市立南小学校 4年
両角 慶太さん

書道の部



佳作 長久手市立長久手小学校 2年
ブリッジズ 百佳さん

標語の部

最優秀賞 「優しいな 笑顔の君は 太陽だ」 日進市立西小学校 3年 横山 千夏さん

「育てよう 小さな小さな 勇気の芽」 長久手市立市が洞小学校 5年 田中 真優さん

「個性とは 神からもらった 宝物」 豊明市立沓掛中学校 1年 速水 彩夏さん

入選 「ゆうじょうを つなぐことばは ありがとう」 長久手市立西小学校 3年 水野 孝太郎さん

「どうだろう いじめるきみは 幸せか」 日進市立梨の木小学校 5年 佐々 亮太さん

佳作 「しないだね じぶんがやられて いやなこと」 日進市立赤池小学校 1年 武田 佳奈子さん

「お年よりに やさしく声かけ いい気もち」 日進市立竹の山小学校 2年 松本 健佑さん

「ありがとう 君の言葉が 温かい」 豊明市立沓掛小学校 3年 日比野 央典さん

「いじめはね ガラスの心を きずつける」 長久手市立南小学校 3年 平地 由奈さん

「人と人 生きてるなかま さべつなし」 東郷町立高嶺小学校 3年 松島 明花さん

「どうしたの? その一言が 救いの手」 日進市立日進東中学校 3年 田口 大空さん





普通とは何か

東郷町立春木中学校 三年 西 梨花さん

皆さんは障害がある人をもっと思っていますか。やはり可哀想や特別な人というイメージを持つ人が多いと思います。

私は、先天性の脳性麻痺があります。地元中学校に通っており、勉強も皆と一緒にしています。そして、私と仲良くしてくる友人がいます。

ある日、ふと疑問に感じたことがありました。それは、なぜ障害者である私と仲良くしてくれるのだろうかという疑問でした。自分のことは障害者ではなく、皆とは少し違う個性を持っていると考えています。

でも、普通の人がいわゆる健常者である人達はなかなかこう考えるのは難しいと思います。なぜなら、障害者に対して周りが冷たかったり、偏見や差別の目があるためです。

「私として恥ずかしい思いとかしないの。」と。返ってきた言葉は

「なんでそんなこと聞くの。一緒にいたいからいるんだし、そんな風に思う理由なんてないよ。」

私は、驚きました。今まで心無い言葉を言われ傷ついたり、自分の体が嫌だなと思っていたのでありのままの私を受け入れてくれていると思うと本当に「ありがたい。」

という言葉しか出てきませんでした。もし、私が彼女達と反対の立場だったら、どのように言っていたでしょうか。もちろん友達なので別に気にせず生活していると思えますが瞬時に先ほどのような言葉が言えるという自信はありません。本当に良い人達に出会えたなと感じました。

皆さんも、最初から、障害者だからといって偏見や差別の目を向けるのではなく、接したり、話したりしてもらえませんか。難しいことだと思えます。

しかし、少しずつでもその人の良いところが見つかっていけば、偏見や差別の目も減っていくと思えます。人間皆平等と言われていますが、今の世の中本当にそうだとはい底思えません。偏見や差別をしてはいけないのです。

一方、世界には「パラリンピック」というオリンピックと同様に四年に一度の大会があります。これは、身体に障害のあるアスリートがそれぞれの条件の中で、力を競うものです。パラリンピックに出場している一人一人が一生懸命に戦っている姿を見ていたら障害があるなんて感じられないほどでした。

入選

SNSを使うこと

日進市立日進中学校 三年 中上 瞳月さん

私は最近、SNSを使い始めました。周りの子は、ほぼ全員SNSを使っています。私がSNSを使っていなかったときは、友達との会話の内容が理解できず、会話に入れないなと思うことが、多々ありました。

また、あの子に伝えたい事があるけど、伝えられなかったり、早く返事が聞きたいけど、聞けなかったりと、SNSがあればスムーズに進むのになと思うこともありました。だから、SNSを使い始めた頃は、連絡したい事が、スムーズにさへさへ通じることに、驚き、感動していました。また、SNSを通じて、友達が増えることに、胸をおどらせていました。

しかし、SNSを使い始めて、数日たったある日のこと。私のスマホにある通知がきました。それは、同じ学年の男の子のプロフィールと、その子があるグループに招待してくれましたという通知でした。その時は、少し違和感を感じました。なぜなら、私はその子に、自分のプロフィールを教えた覚えが、なかったからです。何で私のプロフィールを知っているのか。どうやって伝わってしまったのか。私は、つながりすぎるSNSに、恐怖を感じました。そして、その出来事がある友達に話しました。すると、「ああ、私が教えたよ。」と、言われました。

「えっなんだ。」

「だって、その子がしずくのプロフィールを欲しがってだし、そのグループにしずくが入った方が楽しいかなって思って。」 私は、そのグループに入りたいと言ったことは、ありませんでした。また、その男の子とも、そんなに仲良くありません。でも、私のプロフィールを持っている子は、いつでもそんな事ができるんだと、再び恐怖を感じました。

それから私は、SNSに関する情報を、テレビやニュースなどで、意識して見るようになりまし。すると、SNSによる悪口やいじめ、SNSによる自殺など、中学生も巻きこまれ、被害者にも加害者にもなる、恐ろしいニュースが多くあることに気がつきまし。私は今まで、SNSを使うことがなかったため、SNSに関する事は、あまり気にしていませんでした。でも、世の中では、SNSによって苦しめられている人が、こんなにいるんだと、改めて深く知ることができました。

その出来事があった日からは、SNSにのせる写真や言葉、言葉遣いやのせる時間などを考えて、SNSから発信しようと思いました。また、SNSは、どこまで拡散されるかわからないため、誰かに私のプロフィールを教えるときは、「他の人に私のプロフィールを教えるときは、私に一言下さい。」などと、声をかけてから、友達になるという手順で、行おうと思いました。むやみやたらに、SNSを使うのではなく、自分の言動に気をつけて、SNSを使うことが大事なんだと学びました。

最後に私は、SNSは、自由と責任の狭間だと思いました。人に知られることなく、自分のありのままの事、ちょっと自慢

しかし、なぜパラリンピックはオリンピックに比べて知名度が低いのでしょうか。なぜオリンピックのようにテレビ放送されないのでしょうか。この二つの疑問に大きく関わっているのはやはり、障害者ができるものなんて限られているし、おもしろくないと思われる人が多いからだと思えます。これにより、テレビの放送規模が小さくなってしまします。同じように評価されるべきだと思えます。金メダルを取ってもあまりニュースになりません。

でも、今はSNSが多くの人に広まっているため、簡単に情報を手に入れることができます。そのためメディアやインターネットをうまく活用すれば、少しでも多くの人に見てもらえるチャンスになると思えます。

皆さんは一人だけの力で生きていけません。決してそんな人はいないと思えます。誰もが助けて、助けられながら生きています。障害者は助けてもらう回数が多いだけです。人は協力しながら今を生活していることを絶対に忘れないでください。それは障害の有無に関係ありません。

そして、私は障害者の一人として少しでもたくさんの人に知ってほしい、分かっているほしいと思える人権作文を書きました。

最後に、もし困っている人がいたらそっと手を差し伸べてもらえませんか。最初は勇気がいるかもしれませんが、一度相手の人の顔を見てみてください。にこやかだったり

「ありがたいですね。」と言われるはずですが、これから少しずつ優しさの輪が広がることを願っています。同じ人間なのですから。

「えっなんだ。」

「だって、その子がしずくのプロフィールを欲しがってだし、そのグループにしずくが入った方が楽しいかなって思って。」 私は、そのグループに入りたいと言ったことは、ありませんでした。また、その男の子とも、そんなに仲良くありません。でも、私のプロフィールを持っている子は、いつでもそんな事ができるんだと、再び恐怖を感じました。

それから私は、SNSに関する情報を、テレビやニュースなどで、意識して見るようになりまし。すると、SNSによる悪口やいじめ、SNSによる自殺など、中学生も巻きこまれ、被害者にも加害者にもなる、恐ろしいニュースが多くあることに気がつきまし。私は今まで、SNSを使うことがなかったため、SNSに関する事は、あまり気にしていませんでした。でも、世の中では、SNSによって苦しめられている人が、こんなにいるんだと、改めて深く知ることができました。

その出来事があった日からは、SNSにのせる写真や言葉、言葉遣いやのせる時間などを考えて、SNSから発信しようと思いました。また、SNSは、どこまで拡散されるかわからないため、誰かに私のプロフィールを教えるときは、私に一言下さい。」などと、声をかけてから、友達になるという手順で、行おうと思いました。むやみやたらに、SNSを使うのではなく、自分の言動に気をつけて、SNSを使うことが大事なんだと学びました。

最後に私は、SNSは、自由と責任の狭間だと思いました。人に知られることなく、自分のありのままの事、ちょっと自慢

※原文に忠実を原則にしましたが、誤字・脱字等については、最小限の訂正をさせていただいたものもありますのでご了承ください。

私たちが人権擁護委員はあなたの相談相手です。相談は無料ですのでお気軽にご相談ください。(令和元年11月1日現在)

Table with 4 columns: City (豊明市, 日進市, 長久手市, 東郷町), Office Name, TEL, Hours, Staff Names.

名古屋人権擁護委員協議会愛知地区委員会奨励賞 (敬称略)

Table with 4 columns: City (豊明市, 日進市, 長久手市, 東郷町), School Name, Grade, Student Name.